事務事業評価シート 平成 29 年度事後	評価	•決算 m	<b>学課</b>	平 <b>主涯学習</b>		年 <b>2</b> 3 当班	月 21 文化振	
F務事業名 ☐ 42300 大原幽学遺跡史跡公園管理費		予算 会計	款	項	目	主な事	業	
		科目   一般       根拠法令   <b>文化財保護法</b>	10	4	- 美	□ 国土郊		(計画
施策 施策の展開 27 文化財の保護		戦略事業 134 大原幽学遺跡史跡	公園管理	費	種 別	☑ 定住自	立圏構想	1
施策の展開		戦略事業				□ 主要事	掌業	
1) 事務事業の概要	17十	7 東攻東光はのか、古兄が理例でき	マトス会は	ナマ 行	お田部は	はわねい		
<ul><li>事務事業の期間</li><li>②事務事業の内容 ※何をどのように</li><li>単年度繰返</li><li>国指定史跡44,537.27㎡をふくむ総面:</li></ul>								サルト
☑ 平成 2 年度~ 四個建大師44,537.27間をふくむ心面				。思まれれ	こ日然現場	見乙丈跡で	が活用し、	又化,
□ 開始牛度 ↑ 計								
平成 年度~   維持官理として、 場時職員と名により								'理、修
平成 年度まじ		関する課題・環境の変化			する住民			
園内施設の	の老村	5化や取壊しなどで史跡としての整備か	一般の利	用者、特(	こ団体の来	表園者は公	園への進	
		場トイレ、動物舎、キャンプ場、管理棟、 ₹止撤去)。史跡の公有化もあり、水田			ことから、ŧ  内の遊歩:			
		5月が課題となっている。		くいとの声		2N 9C -	-50 ( XI	142717
!)コスト・特定財源の状況			=					
	出占	. <b>土</b> 丽	単位	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度(決算)	30年
金 1.786 臨時職員1名	半位	:千円	千円	(次昇)		1,690	(次昇)	(丁男
用書 1.962 高熱水費、燃料代、消耗品			千円	500	224	831	1,962	1
記料 7,548 史跡大原幽学遺跡測量業務委託、緑地管理 事請負費 0 幽学遺跡古材撤去及び整地工事	、防災		千円 千円	3,638 6,464		9,277 518	7,548 0	4,0 3
事請貝貨 USM子退跡占州撤去及び登地工事の他 876.労災保険料、役務費、使用料及び賃借料			千円 千円	6,464 883		1,064	876	3 1,0
寺定財源の内訳(29年度の決算)	単位	:千円 業 事業費計 (A)	千円	13,565		13,380	12,172	7,8
庫支出金   1,724 史跡等保存活用計画策定費補助: 道府県支出金   800 史跡等保存活用計画策定費補助:		費 1. 国庫支出金 Ht 2. 都道府県支出会	千円 千円	2,900	6,858	2,576	1,724 800	
方債 0	<u> </u>	2 3 地方債	千円	2,300	0,000		300	<u></u>
の他 0		4. その他	字 字 字 字 字 一	10.005	10.744	10.004	0.040	
前年度		5. 一般財源	十円	10,665	13,711	10,804	9,648	
減理由		従事職員数常時	2 人	大	人×	日 =	延べ	0
事務事業の手段・目的と対応する指標				00/5	07/5 55	00/5	00 /T III	00 F
①主な活動	3	活動指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年
29年度実績(29年度に行った主な活動)						(2.2.6)	(3 3.0 ()	
	ア	開園(記念館開館)日数	日	302	305	301	295	30
·遺跡史跡公園の維持管理 ·保存管理計画策定報告書の作成								
体付目理引 四次と報古者の作成	イ	修繕、工事件数	件	5	3	5	4	
	Ë			00/5	07/F #F	00/5	00 /T HY	20.75
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	4	成果指標名	単位	】26年度 【実績)	27年度 (実績)		29年度 (実績)	30年)
地域住民、旭市来訪者			1 133					
象 ペスピス、他们不副名 意 文化財の保護と併せ、憩いの場となるように適切に管理される	ア	大原幽学記念館の年間入館者数	人	5,175	5,700	5,266	5,180	5,47
図ことで、市民や多くの人が旭市の文化に触れる機会が増える。								
対象記念館入館者のうち市内在住者								
意 文化財の保護と併せ、憩いの場となるように適切に管理される	イ	市内在住の入館者数		535	394	340	323	37
図 ことで、市民や多くの人が旭市の文化に触れる機会が増える。								
<b>)事務事業優先度評価の結果</b>	里	(5)成果指標の動向						
X条優先度評価結果 ②コスト削減優先度評価結果 コスト コスト	-	5,800	•			<del></del> 60	00	
かなり ある程 ほとん 下位 中	位	上位 5 600	<u> </u>			50	00	
, 1/0 1/	/3	1/3	1	_		4	00	
	(3)	5,400			1	- 30	00	ーア
普通		5,200			<b>*</b>	- 20	00 -	<b>ー</b> イ
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		5,000				—- 10	00	
果度。		4,800		-		$\longrightarrow$ 0		
		H26	H27	H28 H	129 H30	計画		
事務事業に関する評価								
① 進捗状況 □ 完了 □ 順詞	調	☑ 概ね順調	□値	清		□ 実施	困難	
【コメント】 (停滞・未実施・実施困								
(停滞・木美施・美施函 難の場合、その理由)								
② 成果の状況 成果指標ア 成果指標 ブ 数値増=			比	25年度	26年度	27年度	28年度	29年
成果指標イ   のタイプ   <b>オ</b>   数値増= 【コメント】	=成果[	前上 □ 向上 □ 横ばい ☑ 低-	成 製 果っ			28年度	29年度	30計
(低下の場合、その理 館内空調故障により、記念館を一定期	抽胆碱	西時休館と トニとかに 入館 老粉の 浦	動	514	525	△434	△86	2
由) 期内空調故障により、記念館を一定規	웨间院	III M M M M M M M M M M M M M M M M M M	向イ	355	△141	△54	△17	
③ 今年度取組事項 時期	内容			現状維持		□見直		
(30年度に取り組む主 中跡士原圏学遺跡		基本計画策定に向   の   □   縮/		廃止•休		□ 元品 □ そのf		
『年頃に~りい、「記載』   平成31年3月   けて、計画策定委員		の組織化及び計画 方	保存活 等の実		に応急的に行 由害防除、風			
素案の作成		向 性	目的とす	する防災対策	を適宜行う。ま	た、老朽化し		#等の改作